



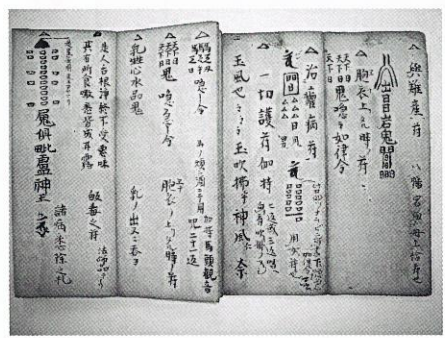
市埋蔵文化財センター
☎ 23-8020

どきどき たいむとらべらー

よく効いたおまじない

かつて浄法寺の飯近(いひぢか)にあつたという正楽院。修行を積んだ修験者が、加持(かぢ)祈禱(いた)をはじめとするさまざまな宗教活動をおこなっていました。その正楽院の資料の中にひとときわ目をひくものがあります。病気や痛みを治すための護符(まごころ)の書き方・呪文の唱え方を記したものです。

症状によって方法はさまざま。効能と共に文字を連ねて描いた図形や、摩訶不思議な言葉が並んでいます。その中にコナサセバサマ(お産婆(うぶ)さま



おまじないの効果は大きかった!?

ん)に伝授したと思われるものがありました。難産の時・逆子の時・お乳の出を良くしたい時などに用いられたものです。

今となれば笑われるようなことかもしれませんが、「死ぬかと思うほどに苦しい時、コナサセのまじないは確かに効いて楽になるものだった」といいます。

妊婦さんを励ましながらい、数珠(じゆ)を手にして一心に祈り、症状に応じて護符を飲ませる。産むほうも産ませるほうも、安産を祈って力を合わせます。そうした時にはやはり、神仏のおかげと思えるような不思議な癒しの力が生まれるのかもしれない。

こみゅにTeaたいむ

14編目

まちづくり補助金の対象事業が決定しました

市は、本年度から町内会や常会などが行う地域課題の解決や活性化を推進する事業に対して補助を行い、地域の特性を生かした個性的で魅力ある地域づくりを支援するため「まちづくり事業補助金」を交付することしました。

この補助金の対象となる事業は、各地域ごとに自ら計画され、公開審査会を経て、決定されます。

初年度にあたる今回は、7つの常会、町内会などから応募があり、去る6月23日、市

役所において公開審査会が行われました。

県立大学総合政策学部の高橋秀行教授をはじめ4人の審査員により、公益性、有益性、計画の実現性について審査した結果、下記の表のとおり、7団体の全事業が決定となりました。

今回、応募した7団体は道路、看板などの整備、イベントの開催、備品の購入などを行い、地域づくりへの取り組みを更に推進することとしています。

事業の実施結果は、来年3月の地域づくり研修会で発表される予定です。



公開審査会の様子

H 20 まちづくり補助金交付決定団体

No	実施団体	事業名	事業内容
1	向田常会	向田地区提灯更新事業	提灯まつりの提灯購入 200個
2	下米沢自治会	市道家の上線整備	市道整備 約100m
3	矢沢大子自治会	矢沢大子地区環境整備事業	看板の整備 2基、墓地への歩道整備
4	十文字町内会	公民館取付道路整備事業	公民館へのアクセス道路新設
5	晴山町内会	晴山町内会活性化事業	音響設備購入、カプトムシ養殖施設整備
6	村松町内会	村松町内会活性化事業	半てん、ジャンパー、夜間反射ベスト購入
7	大畑区町内会	堀野祭り前夜祭	やぐら設置、盆踊り大会開催

この欄の問い合わせは、
市地域づくり推進課(内線653)まで

いします。